

浜田開府400年祭記念式典

場所：石央文化ホール

日時：R元.10.13(日)

ただいまご紹介をいただきました、県知事の丸山でございます。

本日は浜田開府400年祭の記念式典が、多くのご来賓の皆様と市民の皆様、ご出席のもと、盛大に開催されますこと、心からお慶びを申し上げます。

また、本記念式典、また関連の諸事業を含めて、この400年に合わせた、この様々な事業、機運醸成にご尽力をいただいております久保田市長をはじめ、実行委員会の皆様方に心から敬意を表する次第でございます。

先ほどもこの映像でもこの長い400年の歴史を振り返り、勉強させていただきました。本当に、ないところから町をつくる、というところからはじまったこの400年のスタートから教えていただいたわけでございます。

今回の式典にあわせまして、ぜひ見たいと思ひまして、昨日オープンされました浜田城資料館、この御便殿を活用されたこの新しい施設を、先ほど拝見させていただきました。

当時の東宮であられました大正天皇をお迎えするために、地元の皆様方がお金を出して造られた豪勢なこの和館を拝見させていただきましたが、そういったものをきちんと守り継がれていただいているということも、改めてこの浜田の皆様方の心意気を感じたところでございます。さらにそれを、この400年にあわせて、発展させて引き継いでいこう、といった諸事情を皆様方に伺ったところ、最初はこの企業をはじめ、市民の皆様方のご寄附、それから内外のご厚志、ふるさと納税を活用して、あの立派な施設をリニューアルされた、というように伺っております。

これまでの400年の良さを残し、そしてその良さをさらに伸ばしていこう、ということで、次の100年に向けて若い世代にこれをつなげていくという、浜田の皆様方の心意気をじかに感じたところでございます。

ちなみに、私、本日そこでお茶をたてていただきました。先日、島根県知事公舎を若干開放いたしまして、城山の大茶会で松江で茶会を開いてもらいましたけども、県知事公舎の和室よりも御便殿の和室の方がだいぶ立派でございまして、天井の高さですね、それから雰囲気、負けてるなというふうに思ったところです。

ともかく、この次の100年、引き続いて浜田の発展に向けて、若い皆さん方に頑張ってください、そして、この県政といたしましては、この県西部石見地域を牽引し発展の先駆けとなっていくと中心都市としてさらに発展をしていただくこと、それからそれに向けて県政として一生懸命汗をかいていくことをお約束いたします。

さらなる浜田市のご発展、本日のご出席の皆様方のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます、粗辞ではございますが、お祝いのご挨拶とさせていただきます。

本日は誠にめでたうございます。